

都産技研表彰

— INNOVATION PARTNERSHIP AWARD —

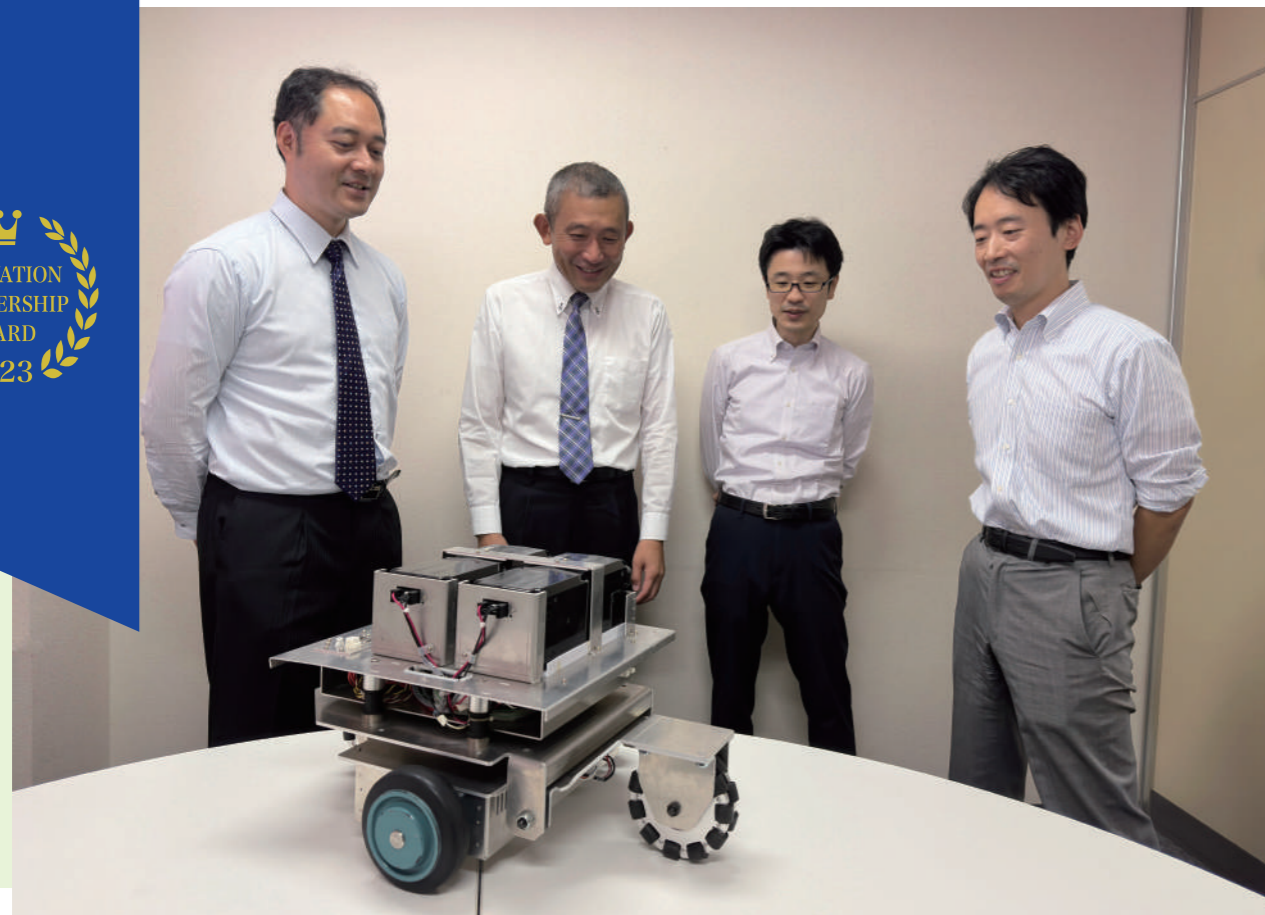
INNOVATION PARTNERSHIP AWARDとは

賞設立の経緯

都産技研設立100周年を機に、都産技研を利用し都内産業を牽引してきた優れた中小企業を表彰し、東京都におけるイノベーション創出の発展に導くことを目的として設立

対象

都産技研の技術支援・研究開発を通して、社会的貢献度の高い事業、製品・技術開発に意欲的に取り組み、都内産業を牽引している中小企業



株式会社システムクラフト

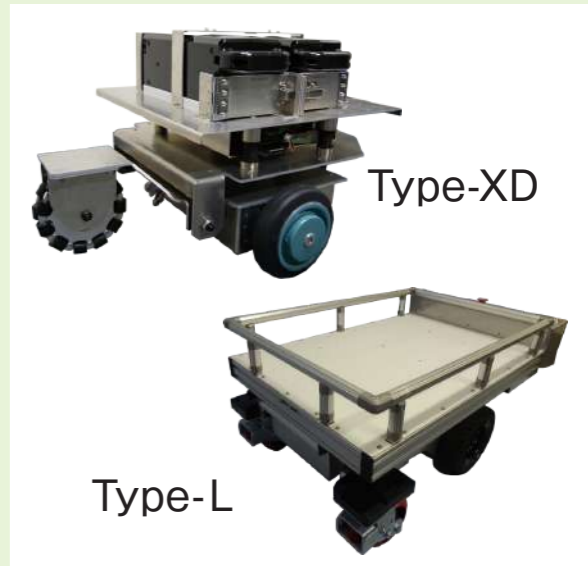
所在地 東京都立川市柴崎町3-10-4 大雅ビル3F

TEL 042-527-6623 URL <https://www.scinet.co.jp/>

受賞理由

都産技研では、凹凸のある不整地でも車輪が接地した状態を保ち、段差走行時の安定性を確保するロッカーボギー機構を取り入れたT型ロボットベース技術を開発した。この技術は研究レベルに留まるものであったが、非転倒性、耐久性、安全性、各種外部入出力センサとの接続性の向上や量産化を可能にするなど、都産技研とともに実用化・高機能化した。そして、移動型ロボットの駆動部(足回り)に使用する汎用性の高いロボットベース「SCIBOT(サイボット)」の商品化に成功した。

人とロボットの距離を縮め、人とロボットとの協働による労働力不足の解消や安全安心を守る社会に貢献している。



支援の流れ

サイボット 様々な要求に応える移動型ロボットベース「SCIBOT シリーズ」

公募型共同研究

(2015年)
都産技研のT型ロボットベース技術を高機能化させ実用化

日本ロボット学会 実用化技術賞

(2017年)
移動型サービスロボットの製品化を容易にするロボットベースを開発したことにより受賞

共同研究

(2018年)
T型ロボットベースの最適化による走行安定性能向上

機器利用,OM支援

耐久性
・荷重耐久性試験
安定性
・傾斜路走行試験
汎用性
・自律走行ソフトウェアの試作 など

これら支援を経て、多様な分野のサービスロボットの足回りとして応用展開

企業紹介



優れた技術力とアイデアを背景に、継続的に競争力のある製品を市場に送り出し、社会の期待に応える。

1978年10月、コンピュータ応用機器の物づくり技術者集団として創業。以来コンピュータとの通信の融合、画像技術の革新、モバイル化、ユビキタス化とIT産業のめざましい変革を正面で捕らえ、成長を続ける。

都産技研との出会いがきっかけでサービスロボット産業へ参入

ロボットの足回りを単体で販売する事業者は少なく、各種ロボットメーカーは独自に足回り機能を開発する必要があった。2014年に都産技研と移動型ロボットの駆動部に使用する汎用性の高いロボットベースの開発をスタートし、性能・実用性の向上に取り組む。

もっとロボットがあふれる社会へ

ロボットの足回りSCIBOTのみならず、計測・分析・運搬を特徴としたカスタマイズ製作のロボット受託開発を広げ、人々の日常生活や仕事の中で人間とロボットが助け合いながら共存する社会を目指す。